

## 受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

<b>平成24年度 文部科学大臣賞</b> 「個人・グループ・学校」分野 <b>受賞</b>	受賞者名
	<b>山形県立山形工業高等学校</b>
	所在地
	<b>山形県山形市</b>
受賞テーマ	
<b>「山形工業高校リサイクル・ECO 活動から広がる地域連携と環境保全意識の向上」</b>	

### 1. 活動継続 あり

洗って何度でも使えるエコバックを利用した、植木まつり、花笠まつり清掃ボランティアでは、現在でも、チラシ一つで 200 名を越える生徒の参加がある（下図左）。また、廃油キャンドルを利用したキャンドルスケープ（下図右）や BDF を使用した発電による環境啓発活動も、山形市環境課や NPO との連携により継続して実施している。



### 2. 活動の広がり あり

公民館や小学校へ出向いてのリサイクル工作教室を実施している（右図）。

その他、LED を利用した花笠による花笠まつりへの参加も、毎年 60 名を越える参加がある。また、清掃ボランティアへの保護者の参加も毎年増えている。



### 3. 活動の進化 あり

エコカップやまがた 2012 において大賞をいただき低炭素杯 2013 に出場、全国で発表の機会をいただいた（下図左）。また、東北地方 ESD プログラム チャレンジプロジェクト発表大会において、審査員特別賞をいただいた（下図右）。



### 4. 今後の計画

今のところ、現在の活動を定着させることが第一と考えている。

## 【表彰概要】

同校では、環境システム科の生徒が中心となって、近所の飲食店や生徒、教職員から提供いただいた廃食油を原料として、年間約 800 リットルの BDF(バイオディーゼル燃料)と約 20kg の粉石鹼を製造している。

製造した BDF は本校室内プールの燃料の一部として利用される他(H18～)、ディーゼル発電機用燃料として、本校での恒例事業「桜のライトアップ」(H18～)や山形市村木沢地区で開催されている「あじさい祭り」でのライトアップ(H20～22)、そして文翔館(旧県庁)前広場で毎年開催されている「とっておきの音楽祭 in やまがた」での環境啓発活動(H20～)などに利用されている。また、粉石鹼は、市内で開催される様々な環境啓発イベントに参加した際に、本校生徒が製造方法などについて説明しながら無料配布を行っている。

### ○廃食油を活用した BDF、石鹼の製造と利用および環境啓発活動(H18～)



↑ BDF を利用した発電によるライトアップ 本校「桜のライトアップ」および「あじさい祭り」

### ○廃食油キャンドルの製作とキャンドルナイトでの環境啓発活動(H19～)



「キャンドルスケープ in やまがた」  
山形市役所職員およびNPO 環境ネットやまがたの皆様と連携しながら、製作した廃食油キャンドルの装飾とワークショップを行った。  
製作した廃食油キャンドルは約 600 個。

また、校内から出るシュレッダーダスト(紙ごみ)を利用した物づくりを行い、「エコ薪の製作と全校「いも煮会」での使用(H22)」「植木鉢(又は花器)の製作および講習会の開催(H23)」を行った。

他にも「エアバック(廃車部品)を利用したエコバックの製作(H23)」や「エコバックを利用した地域清掃ボランティア活動の展開(H17～)」を行っている。

これらの活動が評価され、平成 23 年度山形県「ごみゼロ推進功労者」表彰を受賞した。